

## 熊本大学五高記念館 および 熊本大学工学部研究資料館 の開館

流体工学部門講演会期中、熊本大学黒髪キャンパス内にある「五高記念館」および「工学部研究資料館」(いずれも国指定重要文化財、後者は日本機械学会から 機械遺産 に認定)が開館されますので、是非、ご見学ください。

### 五高記念館 の開館時間

11月12日(土), 13日(日) 10:00~16:00 (※但し、入館は15:30まで)

### 工学部研究資料館 の開館時間

11月12日(土) 12:00~13:00, 14:00~16:30

11月13日(日) 12:00~15:00



五高記念館\*



\*熊本大学キャンパスミュージアム HP (<https://museum.kumamoto-u.ac.jp/>) より



工学部研究資料館\*

### 五高記念館について (<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/index.html>)

1887(明治 20)年 4 月に開校した第五高等中学校の本館として、1889(明治 22)年現在地に竣工しました。以来、教室棟として使用され、多くの生徒たちがここで学びました。1894(明治 27)年に「高等学校令」が出され、第五高等中学校はその年の 9 月に第五高等学校となりました。開校から 63 年の歴史を刻みましたが、第二次世界大戦後の学制改革によって熊本大学に包括され、1950(昭和 25)年に閉校します。熊本大学となってからも講義室・研究室として活用され、教養・語学の授業が行われていました。1969(昭和 44)年 8 月、化学実験場・表門(赤門)とともに国の重要文化財に指定されました。1993(平成 5)年に第五高等学校に関する展示を整備し、「五高記念館」として土日の公開を始め、2006(平成 18)年 4 月からは週日も公開しています。2010(平成 22)年博物館相当施設に指定されました。



五高記念館

### 工学部研究資料館について ([https://www.tech.kumamoto-u.ac.jp/kenkyushiryoukan/info\\_02.html](https://www.tech.kumamoto-u.ac.jp/kenkyushiryoukan/info_02.html))

1908(明治 41)年に煉瓦造で作られた工学部研究資料館は、もともと旧熊本高等工業学校の機械実験工場として建てられた建物です。ここでは教官や技官により機械に関する種々の実験を通し技術開発に関する研究がなされ、学内や学外で使用される工作機械や実験装置の製作も行われていました。学生たちにとっては、各工作機械の扱い方を実習しモノづくりを身体で覚



工学部研究資料館

え、技術者として訓練される場所でもありました。1977(昭和 52)年以降は研究資料館として使用されており、高等工業学校時代からの工作機械や歴史資料を展示しています。展示物は各種旋盤、平削盤、立削盤などの工作機械を中心に、各種測量機、教科書類、古写真アルバム、明治から続く高等教育機関で、当初の建物とともに、機械が動く状態で保存(動態保存)されている機械工場は全国にも例がなく、煉瓦造の建物と 11 台の古い貴重な工作機械は、平成 6 年に国の重要文化財に指定され、また平成 19 年には日本機械学会から機械遺産に認定されました。

工学部研究資料館は、20 世紀の技術者を養成し日本の機械文明を支えた生き証人です。



工学部研究資料館動画



五高記念館



五高記念館への経路  
(Google map)



工学部研究資料館への経路  
(Google map)